

事業者間連携によるサイバー攻撃対策に 関する規律の詳細の検討状況

令和4年9月

電気通信事業ガバナンス検討会

事務局

- 2022年6月以降、認定送信型対電気通信設備サイバー攻撃対処協会として認定を受けている一般社団法人ICT-ISACと連携し、「認定協会業務推進WG」などにおいて議論を進め、規律の詳細について検討。
- 今後、上記検討結果を踏まえて省令案を策定し、パブリックコメントを経て、年内に省令を制定・公布予定。

[検討事項]

- 送信型対電気通信設備サイバー攻撃対処業務の対象として追加された攻撃先設備探査の範囲（詳細）
- ✓ サイバー攻撃の発生前においても、攻撃の予兆と認められる行為を捉えて、ISP間の情報共有や分析を実施できるようにするための環境を整備

[検討状況（攻撃先設備探査の範囲）]

● いわゆるポートスキャン（※）と呼ばれるスキャン行為

※ サイバー攻撃に先立って、攻撃対象となる電気通信設備に対して、特定の packets を送信し、それに対する応答や振る舞いを調べることで、外部からアクセス可能なポート（侵入口）を探し出す行為のこと。

[ICT-ISACの概要]

[ICT-ISAC]

- 2016年3月 設立
- 活動内容
 - ・サイバーセキュリティに関する情報収集・調査・分析
 - ・会員間の情報共有と共同対処
 - ・セキュリティ人材の育成、セキュリティ啓発
 - ・セキュリティガイドライン等の整備に関する活動
 - ・認定送信型対電気通信設備サイバー攻撃対処協会としての活動
 - ※ 2019年1月8日に認定送信型対電気通信設備サイバー攻撃対処協会として認定

[認定協会業務推進WG]

- ・設置：2018年9月
- ・責任会社：KDDI株式会社
- ・活動内容：電気通信事業法に基づく認定協会業務の推進と、NOTICE業務を円滑に推進するためのISP注意喚起業務の実施支援、改善策等の検討を推進